

公表：令和 2 年 2 月 7 日

事業所名 どんごジュニア

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●			状況に応じて1階・2階のスペースに分けて活動している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	●				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		●		玄関にスロープ、身障用トイレの設置はあるが、他の設備は不足している	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●			スタッフミーティングの時間を設けて、目標と現状の話し合いをすることにより、適宜、対応している。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			家庭から頂いたニーズを療育に活かせるよう、状況に応じて検討会を開いている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			ホームページに公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		●			その資源をまだ活用できていないことが課題だと認識しています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			法人研修や外部研修を通して、各自、研鑽に努めている。レポートは管理者が全て確認している。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			作成された原案に対して、全スタッフが確認し、現状の分析と内容の構成に努めている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●			課題整理表を活用して、子ども達の長所や強みも支援内容に反映している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	●				
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			昨年度のデータと見比べながら、成長を確かめる継続内容と、新たな一面を見るための新規内容を工夫している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●			長期休暇プログラムは、多く取れる活動時間を活かして、内容を構成している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			曜日ごとに一年を通して、どのような社会性を身につけていくか、そして、個々の気持ちに寄り添うことを忘れずに対応している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			日案表を作成している。また、送迎前にスタッフ間で細かい確認事項を話し合っている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			日案表に特記事項を記載し、振り返りの情報として記録を残している。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			日案表と、日誌に情報を記載している。細かい情報は日誌に残している。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●			子ども達の環境や状況の変化に応じて対応している。	
関係	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	●			個別・集団・地域・家庭支援など、支援計画に盛り込んでいる。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			管理者・担当スタッフの2名体制で参画している。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●			ご家庭から情報も頂いて時間変更等に対応している。高い必要性がある時は、家庭の許可を得てから、先生とやり取りをしている。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	●			医療的ケアが必要な利用者の場合には、連携を図っていきます。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●		児童発達支援事業所（以下、児発）からの引き継ぎ書・児発の管理者から、全スタッフに対して細かい引継ぎの時間を設けている	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	●		中学生の部へ移行する子ども達の引継ぎを、サポートファイルの書面データを活用して作成している。	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●		年に2回、東区のセンターである麦の子会の職員さんに訪問に来ていただいている。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	●			独自サービスにより、兄弟で参加できるイベントなどを開催していく。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	●		会議・研修の案内が来た時は、参加するよう調整している。	参加者が一部の職員に限られている為、今後は参加する職員を増やしていきます
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●		連絡ノートや送迎時の引継ぎ、面談をおこなっている。必要があれば電話対応や、訪問支援事業を活用している。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●			ペアレント・トレーニング等の支援には至っていないので、今後は支援の方法を模索しながら対応していく。
	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●		契約時に重要事項説明書にて伝えている。細かい疑問は、適宜、対応させている。
③⑪		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			
③⑫		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●		事業所内では、年に2回の茶話会を計画し、保護者同士の繋がりが生まれるきっかけを作っている。	
③⑬		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●		挙がってきた内容に対して、検討会を開いている。管理者から家庭に対して説明をさせて頂いている。	
③⑭		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●		会報とおたよりを発行している。	内容の充実化が課題となっているので、担当者と相談していきながら対応する。
③⑮		個人情報に十分注意しているか	●		書面関係はシュレッダーにて細断している。	
③⑯		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●		言語情報や、視覚情報も併せて子ども達が理解しやすい対応に努めている。	
非 常 時 等 の 対 応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	●		10月の法人研修は、市内・道内の療育・教育・保育・関係機関に案内を出している。	
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●		各マニュアルの策定はしているが、保護者の皆様への周知は十分とは言えないため、周知方法を模索する。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●		子ども達には訓練の実施と、家庭には書面での活動報告をしている。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●		虐待防止委員会により、職員研修を実施している。また、気になる対応は職員間で検討会を開いている。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●		身体拘束について、どのような行動がそれに当てはまるのかを、年度初めにスタッフ間で再確認していく。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●		調理活動前には、事前に家庭に確認を取っている。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●		事例が発生した場合には、職員間で検討会議を開いている。	今後は事前予防の観点からヒヤリハットを活用していきます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。